

2023 年度 福祉助成金（活動助成） 成果報告書

ふりがな	えぬびーおーほうじんべあれんとさぼーとすてっぷ	
団体名	NPO 法人ペアレント・サポートすてっぷ	
代表者名	安藤 希代子	
連絡先	住所	倉敷市新田 2463-6
	TEL	086-431-1651
	E-mail	parets0322@gmail.com
	URL	
設立年（西暦）	年	
助成活動名	「見える」福祉で障がい者がいる風景を地域の“当たり前”に	
助成額	1,000,000 円	
活動内容	目的	本プロジェクトは、成人期の障がい者の人生を彩り豊かなものにすること及び地域社会の中で障がい者が暮らし楽しむことを当たり前のこととして認識してもらう風土づくりを目的としています。倉敷のような地方都市では障がい者が利用できる地域資源が乏しく、成人した障がい者は家と事業所や会社との往復のみの生活を送りがちで、若年であっても同世代のような楽しみも少なく過ごし家庭にひきこもりがちで家族とトラブルになるケースも多々見られます。文化芸術に触れる機会は成人期になると激減し、体験しようにも方法がわからない・情報がない・勇気が持てない当事者が多くいます。本プロジェクトでは彼らに体験の機会を提供するとともにそれを地域社会の中で「見える」形で実施します。イベント会場には福祉の支援者が常駐し彼らをサポートします。イベントは必ず交流会をセットにし「尊敬・憧れる大人」と近しく交流して影響を受けることができるよう、また、一般の方も障がいのある方と親しく交流できる場を毎回設定します。障がいがあっても体験を積み社会の中に溶け込み、社会もまた彼らがいることを当たり前と感じられるような場を1年通して企画・展開していきます。
	内容	倉敷市の中心部の会場で障がい者と一般の人が共に参加できるイベントを実施。障がいの有無の垣根を超え、体験活動を通して地域で暮らす者同士が互いに自然と交わる機会を創出。 内容①倉敷美観地区のライブハウス「ピアノホールアヴェニュー」にて（8月）JAZZLIVE「倉田大輔カルテット」LIVE 演奏（参加人数 40 名）プラス Jazz 講座（参加人数 7 名） ②3月17日「花と音楽で彩春フェス」倉敷アイビースクエア内「愛美赤煉瓦館」にて体験型大規模イベント実施。午前：能勢聖紅さんによるトーク&装花ワークショップ/福祉施設や一般事業者による物販およびワークショップ/ランチタイムとカフェタイムで入れ替わる飲食の出店/午後：ラテンバンド「コンフロントサントス」LIVE 参加者合計 875 名 1年間の合計参加者数 922 名
	成果	当初年4回の企画を立てていたが年度途中で計画を変更し、年度末に様々な体験を1度にできるフェスティバルを倉敷美観地区の中心、アイビースクエアで開催することにした。当日大雨であったにもかかわらず沢山の人が参加してくれ、障がいの有無関係なく場を楽しむ様子がそこかしこに見られた。障がい当事者の人たちは何度も出入りし、STAFFの支援者とも親しく言葉を交わし、装花のワークショップでは花の前で次々と記念写真を撮っていた。午後のLIVEの時には演奏後にミュージシャンに声をかけ話す場面も見られた。イベントが終わってからも、春フェスで出会った方の別のイベントに足を運ぶ姿が見られ、彼らの楽しみや行動範囲が広がるきっかけになったようだった。春フェスに先立ち夏に開催したジャズライブは初めて本物のライブハウスでのイベントになったが、一般のお客さんも楽しむ場で、障がいのある子たちも共に楽しむこと

	<p>ができ、LIVE 終了後はミュージシャンと記念撮影をする姿も多く見られた。複数人で LIVE に参加した女性専用グループホームの責任者からは、「LIVE から帰る道々みんな興奮した様子で話し、ピアニストの女性に触発されて翌日は皆、お化粧品にも気合が入っていた」との報告を受けた。イベントがその時だけの楽しさに終わらず、障がい当事者の生活そのものに良い影響を与えていることを実感するエピソードだった。</p>
<p>今後の課題と対応策</p>	<p>今後は、さらに多くの方を巻き込み、更に多くの方に障がいの垣根無く楽しんでもらえるよう、より企画を練り、倉敷の春の恒例イベントとして定着させていきたい。そのために、資金面でも助成金頼みにならぬよう資金計画を立てていく必要があると考えている。</p>



8月、街中の LIVE ハウスでジャズライブ 一般のお客さんと共に

写真の提出



装花ワークショップ



アイビースクエアでの準備の様子



LIVE 参加者で会場かいっぱい



みんなで共にひとつの作品を作り上げる



飲食の出店